

## “廃道ツアー” 募集開始

ORJ編集部代表 永富 謙



本誌34号のエッセイで報告した“廃道ツアー”が、ようやく実施の運びとなった。廃道という役立たずなものをパクツア—の対象としてしまおうという所までやって来たわけである。感慨深くないわけがない。本誌を購読して下さっている皆様のお陰であり、渡りを付けて下さった実業之日本社Iさんのお陰であり、意を汲んで下さった(株)ティー・ゲートのTさんのお陰である。この場を借りて皆さんにお礼を申し上げたい。

要は廃道・廃隧道へバスで乗り付けて醍醐味の部分だけ味わって来ようという企画である。贅沢なのである。ヨッキレんは27号で紹介した山梨県新青梅街道黒川通りの明治道へ案内、nagajisは和歌山県下の旧廃隧道×4を詳説する。当然、本人の案内だ。どちらもティー・ゲート運営の旅サイト「旅の発見」で申し込みを受け付けているので、5月17日あるいは24日が空いていて、行ってやろうという方はぜひお申し込みいただきたい。締め切りは各開催日の1週間前である。

【黒川通り】 【和歌山旧廃隧道】

すでに本誌などで紹介している場所なので、対象はむしろ皆さんよりも廃道の何たるかをご存知ない方々かも知れない。周囲のお知り合いに宣伝していただけたらするとこれ以上有り難いことはない。また、挙行最小人数があるため、必ずしも実施されるとは限らないこと、予めお断りしておく。正念場はここからなのである。